3/20 赤旗

自衛隊をすぐ戻せ

総がかり行動実行委員会は19日、自衛隊の南スーダンからの即時撤退、共謀罪反対などを掲げて、衆参両院議員会館前で行動を繰り広げました。（写真）

↓詳報⑮面

陸自隊員を一時拘束

南スーダン政府軍が連行

防衛省は18日、南スーダンに国連平和維持活動（PKO）で派遣中の陸上自衛隊員5人が物資を購入中、武器を取り締まっていた政府軍に誤って連行されたと発表しました。約1時間後に解放され、けがはありませんでした。南スーダンで陸自隊員が拘束されたのは初めて。

防衛省によると、陸自隊員5人は現地時間18日午前10時ごろ、首都ジュバ市内の宿営地から南に約1・5キロ離れたビルファムロード沿いの商店で隊員らの衣類を購入中、武器の取り締まりを実施していた政府軍の兵士に尋問を受けました。

隊員らは武器を携行しており、商店から約4キロ離れた広場に連行されたといいます。

連絡を受けた日本大使館が政府軍と協議。5人は午前11時ごろ解放され、宿営地に戻りました。同国政府は「一部兵士の誤解により発生した」として謝罪したといいます。

南スーダンに派遣されているPKO要員は身分を保障されており、政府軍による武器取り締まりの対象になりません。しかし、政府軍による国連PKOへの敵対行為やいやがらせが相次いでいます。

日本政府は今年5月末をめどに南スーダンから撤収することを決定していますが、日本共産党は直ちに撤収することを求めています。